

NGOがCSWに参加することの意味 前進のための提案

2017.11.6
JAWW副代表
織田由紀子



国連の会議であるCSWとNGOの関係

- 国連のメンバーは各国政府
- NGO (non-governmental organization 非政府組織)の呼称
 - ≡ CSO (Civil Society Organization・市民社会組織) (市民社会)
 - ≡ ステークホルダー ということもある
 - ※民間企業を含むか否かなどもあり、使い分ける
 - ≡ メジャーグループ (SDGsの会議で使われることが多い)
- 国連は市民社会の意見を重視するとの姿勢
 - ECOSOCの協議的資格(諮問的地位)を持つNGO
- NGOの参加目的は国連での議論に影響を与えるよう提案すること



公式会議における橋本ヒロ子日本代表の発言の様子を傍聴席から撮影したもの。

影響力発揮の方法（CSWの場合）

1. 政府間会議の傍聴を通じてのプレッシャーをかける
(NGOも専門家として、また政府代表団に入り意見を述べることもある)
2. 政府間会議に対してNGOとしての意見表明
 - 意見書の提出(Written statements)
 - 公式会議での発言 (Oral statements)
3. ロビー活動(合意結論や決議に影響するよう働きかける)
⇐NGOによるアドボカシー・トレーニング、地域コーカス会合などが企画される
4. サイドイベント等の実施と参加
(各国政府、国連機関、NGOが共催するもの 国連構内で開催)
5. パラレルイベントの実施
(NGOが主催、国連周辺で開催 **NGOCSW/NY**がコーディネート)



日本政府国連代表部および3女性NGO
によるサイドイベントの様子



国連近くでのラリー

影響力を発揮するための原則＝代表制

- 代表性＝個人や特定のグループの意見ではなく、多くの人や地域の意見を集めたものであることを示すこと。

＜代表性を示す方法＞

例1：ユースフォーラム（CSW直前にUN Womenが開催、CSWで代表がステートメントを読む）

例2：NGOCSW/NY（ニューヨークにオフィスを持つ国際NGOが中心）

→①CSW開始直前にコンサルテーションデイを開催（3月11日（日））

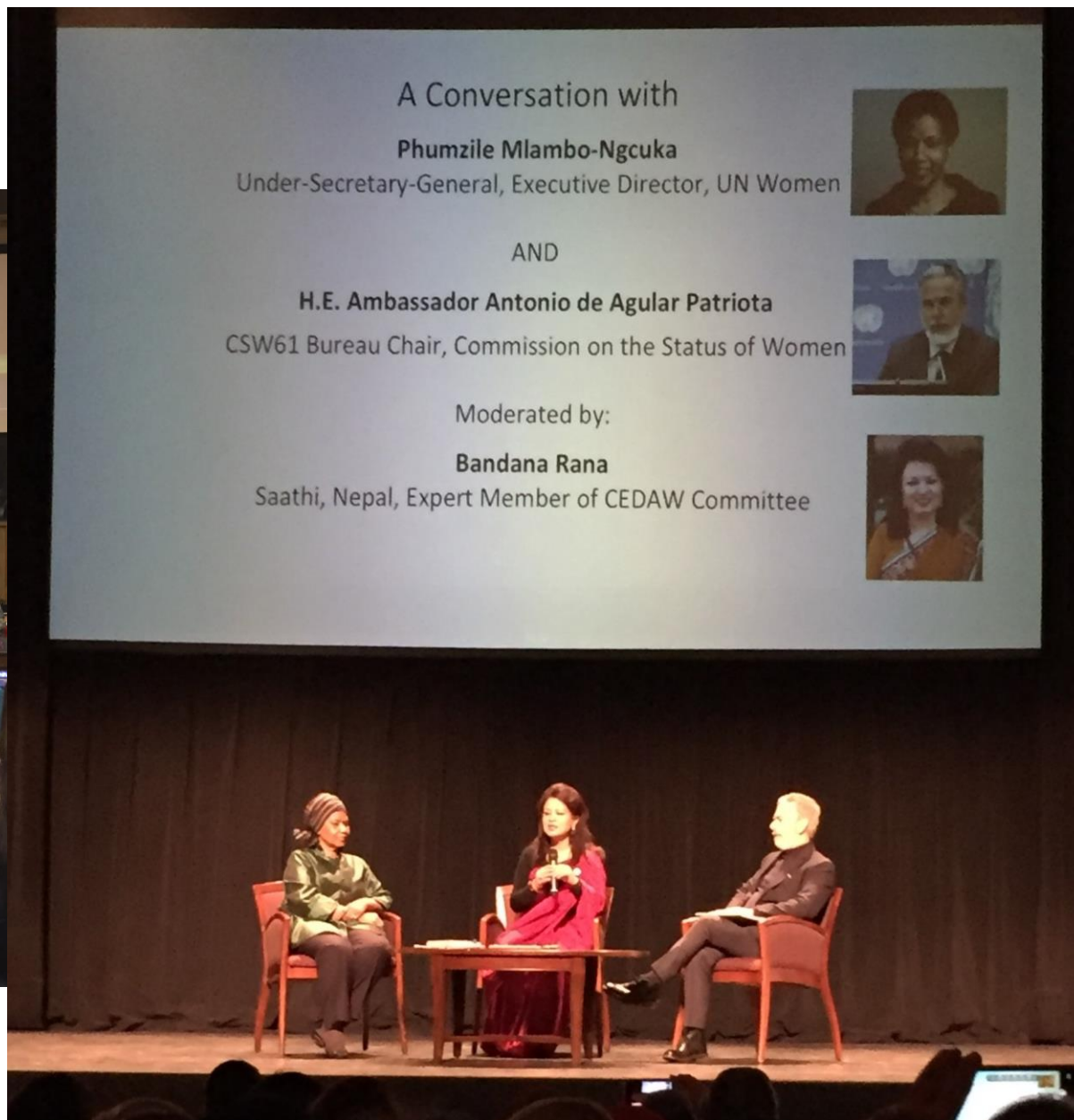
②CSW開催中、NGOによるブリーフィングで情報と戦略の共有
（3/13-24 8:00-8:45AM@UN）

例3：NGOCSW/AP（アジア太平洋地域のNGOの集まり＝APコーカス）

例4：APWW(Asia Pacific Women's Watch)



朝のブリーフィング。
この日はUN Womenの事務局長によるブリーフィング



コンサルテーションデイの様子

ロビー活動にむけての準備とチャンス

- 合意結論や決議案に含まれるべきこと意見として送る(10/13
×切済)
- ドラフトを読んで提案したいことが入っているかチェックする(第1ドラフトは1月下旬～2月初旬webで公開)
- 提案したい意見の支持を集める＝代表制(イベント、コンサルテーションデイ、コーカス会合、ブリーフィングなどを通じて)
- 政府代表(会議で発言できる人)に働きかける(＝ロビー活動)
- 日本政府国連代表部でのブリーフィングで、日本政府の立場を聞く



CSW61 JAWW若者支援参加者、メンター、役員